

「カメラ画像のAI解析を活用した太田市街地渋滞対策実証実験」を実施します！

群馬県では、「県土整備プランDXアクション」の一環として、交通量調査におけるカメラ画像のAI解析の取組みを進めており、将来的には道路状況(渋滞・積雪・冠水等)の状態監視等、データを用いたインフラの効率的な整備、維持管理への活用を目指しています。

一方、太田市の中心市街地において、国道407号を中心に主要渋滞箇所[※]が密集しており、市街地全体で効果的な渋滞対策が求められています。

そこで、太田市街地に設置された道路ライブカメラの画像をAI解析することで検知した渋滞状況を、電光掲示板(デジタルサイネージ)を用いてリアルタイムで道路利用者に提供することで、市街地を目的地としていない車両に迂回を促し、中心市街地の渋滞緩和を図る実証実験を実施します。

※「群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会」で特定された、群馬県内で渋滞対策の検討が必要な箇所

1. 実施期間

- ・令和7年4月7日(月)から令和7年4月25日(金)までの平日(計15日間)

2. 実施概要

- ・渋滞検知用道路ライブカメラのカメラ画像をAI解析し、中心市街地の渋滞状況を検知
- ・検知した渋滞状況を電光掲示板(デジタルサイネージ)に反映し、渋滞情報として提供
- ・渋滞情報の提供により道路利用者の迂回行動を促し、市街地の渋滞緩和効果を検証

3. 実施対象・機器設置箇所

- ・太田市街地に北から流入する車両を対象に、安良岡北交差点周辺で渋滞情報を提供
 - 【渋滞検知用道路ライブカメラ】 国道407号 (熊野町交差点付近)
 - 【電光掲示板(デジタルサイネージ)】 国道122号・国道407号(安良岡北交差点付近)
- ・詳細は、別紙のとおり